

「現在（いま）を編集する 月刊「新潮」創刊 120 周年記念展」を開催します

1 概要

いまから 120 年前の 1904（明治 37）年、日本屈指の文芸誌として名高い「新潮」は日露戦争のさなかに創刊されました。以来、関東大震災直後と第 2 次世界大戦の一時期をのぞき休むことなく刊行され、巻数は世界最多を数えます。

本展では「新潮」創刊 120 周年を記念し、新潮社の特別協力のもと、展示室を 1 冊の本にみたてた展示を展開し、膨大な数のバックナンバーや本展に寄せられた「新潮」ゆかりの作家たちからのメッセージ、「新潮」7 大事件、作家が自作を語る音声など、貴重な資料の数々約 700 点をご紹介します。

2 公開日時・会場等

- (1) 会期 10 月 5 日（土）～令和 7 年 1 月 26 日（日）
- (2) 会場 前橋文学館 2 階企画展示室（千代田町三丁目 12-10）
- (3) 開館時間 9 時～17 時（入館は 16 時 30 分まで）
- (4) 休館日 水曜日
- (5) 観覧料 一般 500 円（高校生以下、障害者手帳持参の人とその介護者 1 人無料）
- (6) 無料日 10 月 5 日（土）（展覧会初日）、12 日（土）・13 日（日）（前橋まつり）・28 日（月）（群馬県民の日）、11 月 1 日（金）（萩原朔太郎生誕日）、令和 7 年 1 月 9 日（木）（前橋初市まつり）

3 関連イベント

(1) オープニングトーク

展覧会初日に、月刊「新潮」編集長の杉山氏と編集部の風元氏が来館。120 年の歩みやこれからについて話します。観覧無料、申し込み不要です。

日時 10 月 5 日（土）14 時

会場 2 階企画展示室

(2) リーディングシアター・三島由紀夫「近代能楽集」より「葵上」「弱法師」

三島由紀夫の戯曲を萩原朔美特別館長の演出により上演します。

日時 11 月 24 日（日）13 時 30 分開演（開場 13 時）※2 演目は 1 演目終了後上演

会場 3 階ホール

対象 一般、先着各 100 人

観覧料 1 演目券 500 円（当日展示観覧券付き）

2 演目券 1,000 円（当日展示観覧券と 1 月 26 日まで有効の観覧券付き）

(3) 対談・九段理江（第 170 回芥川賞受賞）×杉山達哉（「新潮」編集長）

『東京都同情塔』で第 170 回芥川賞を受賞した作家の九段理江さんと、担当編集者で「新潮」編集長の杉山達哉さんが、作品や制作過程について語ります。

日時 12 月 14 日（土）14 時開演（開場 13 時 30 分）

会場 3 階ホール

対象 一般、先着 100 人

※申し込みはいずれも 10 月 26 日（土）から前橋文学館へ電話で

担 当 文化国際課文学館

電 話 027-235-8011